



平成31年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月9日

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3063 URL <http://www.jgroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 赤工 朝飛

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 平成30年10月11日

配当支払開始予定日

平成30年11月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	7,480	3.2	31		11	29.9	20	
30年2月期第2四半期	7,248	4.4	3		16		56	

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 2百万円 (%) 30年2月期第2四半期 49百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	2.50	
30年2月期第2四半期	7.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	9,084	1,983	20.8
30年2月期	9,035	1,836	19.6

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 1,887百万円 30年2月期 1,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		1.50		1.50	3.00
31年2月期		1.50			
31年2月期(予想)				1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,300	2.3	150	37.4	160	3.8	50		5.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	8,671,100 株	30年2月期	8,496,400 株
期末自己株式数	31年2月期2Q	200,105 株	30年2月期	200,105 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	8,360,154 株	30年2月期2Q	8,097,452 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成30年10月24日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善が進んでおり、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、海外の政治、経済動向は先行き不透明な状況で推移しております。

外食業界におきましては、原材料価格の上昇や人材不足による人件費関連コストの上昇など、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、直営既存店のリニューアルに注力するとともに、前連結会計年度に連結子会社化した株式会社かわ屋インターナショナルにおいて「博多かわ屋」のフランチャイズ展開に取り組みました。直営店の出退店におきましては、2店舗を新規出店し、11店舗をリニューアルするとともに、5店舗を閉店いたしました。これらにより、平成30年8月末日現在の業態数及び店舗数は、70業態145店舗(国内142店舗、海外3店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,480百万円(前年同期比3.2%増)、営業損失は31百万円(前年同期は営業利益3百万円)、経常利益は11百万円(同29.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は20百万円(前年同期は四半期純損失56百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 飲食事業

原価及び人件費のコストコントロールに注力するとともに、既存店のリニューアルに取り組みました。

新規出店といたしましては、平成30年5月に「山田チカラ NewYork」(米国ニューヨーク州)、8月に「博多かわ屋仙台店」(仙台市青葉区)を新規オープンいたしました。リニューアルでは、平成30年3月に「猿Cafe(サルカフェ)錦店」(名古屋市中区)を「博多かわ屋錦二丁目店」に、「THE CRAZY GARLIC(ザ・クレイジーガーリック)」(東京都豊島区)を「博多かわ屋池袋東口店」に、4月には「tantan(タンタン)名駅店」(名古屋市中村区)を「ほろほろ」に、「どなんち静岡呉服町店」(静岡市葵区)を「博多かわ屋静岡呉服町店」に、「串星(クシボシ)」(名古屋市中区)を「博多かわ屋金山店」に、「88huithuit(ユイトユイト)イオンモール岡山店」(岡山県岡山市)を「Mou Mou Cafe(モウモウカフェ)イオンモール岡山店」に、6月には「tantan四日市店」(三重県四日市市)を「博多かわ屋四日市店」、「大漁(タイリョウ)」(米国ハワイ州)を「山田チカラ Honolulu」に、7月には「Cafe Merrow(カフェメロウ)」(名古屋市中区)を「Mou Mou Cafeアスナル金山店」に、「てしごと家豊田店」(愛知県豊田市)を「博多かわ屋豊田店」に、8月には「金山きらり」(名古屋市中村区)を「金山精肉酒場(カナヤマセイニクサカバ)せきや」にリニューアルオープンいたしました。

また、「芋蔵(イモゾウ)芝大前店」(東京都港区)、「PIT TAVERN(ピットタバーン)名駅店」(名古屋市中村区)、「猿Cafe八事店」(名古屋市中区)、「TRENCH食堂(トレンチショクドウ)」(名古屋市中区)、「献(コン)」(名古屋市中区)を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は6,890百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益は341百万円(同12.5%増)となりました。

② 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS刈谷」、「jG金山」などの賃貸収入が安定的な収益に寄与いたしました。また、グループ内での賃貸物件が減少したことなどにより、不動産事業における売上高は998百万円(前年同期比1.5%減)、営業利益は82百万円(同1.8%減)となりました。

③ ブライダル事業

既存施設の収益力向上を図るため、名古屋ルーセントタワー別棟のレストランウェディング施設「LA ETERNITA(ラ・エテルニータ)」(名古屋市中区)を改装いたしました。その結果、改装に伴う営業休止期間が一時的に生じたため、ブライダル事業における売上高は323百万円(前年同期比8.0%減)、営業損失は13百万円(前年同期は営業損失4百万円)となりました。

④ その他の事業

販促制作事業及び卸売業等のその他の事業における売上高は415百万円(前年同期比6.6%減)、営業利益は12百万円(同25.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は9,084百万円(前連結会計年度末比49百万円増加)となり、負債は7,101百万円(同97百万円減少)、純資産は1,983百万円(同147百万円増加)となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ80百万円増加し1,242百万円となりました。これは、売掛金が85百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ27百万円減少し7,819百万円となりました。これは、店舗の閉店等により差入保証金が26百万円減少したこと、のれんが16百万円減少したことなどが主な要因であります。

繰延資産につきましては、社債発行費が3百万円減少し22百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ125百万円減少し3,210百万円となりました。これは、短期借入金が313百万円、1年内返済予定の長期借入金が50百万円、それぞれ減少し、買掛金が106百万円、未払金が118百万円、それぞれ増加したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し3,891百万円となりました。これは、長期借入金が53百万円増加したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ147百万円増加し1,983百万円となりました。これは主に、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ74百万円増加し、四半期純損失の計上及び剰余金の配当により利益剰余金が33百万円減少したことなどが主な要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが343百万円の資金増(前年同期比64.1%増)、投資活動によるキャッシュ・フローが257百万円(同69.2%減)の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが208百万円の資金減(前年同期は319百万円の資金増)となりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は234百万円となり、前連結会計年度末の357百万円に比べ123百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は343百万円(前年同期比64.1%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を37百万円、非資金項目である減価償却費を339百万円、のれん償却額を15百万円、それぞれ計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は257百万円(前年同期比69.2%減)となりました。これは主に、新規出店やリニューアル等に伴う有形固定資産の取得による支出が266百万円あり、差入保証金の回収による収入が32百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は208百万円(前年同期は319百万円の資金増)となりました。これは主に、短期借入金の純減額が313百万円、長期借入金の返済による支出が638百万円あり、長期借入れによる収入が662百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入が146百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の連結業績予想につきましては、平成30年4月9日に公表いたしました業績予想から、現時点におきまして変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	357,484	234,465
売掛金	326,169	411,825
商品及び製品	1,690	26,026
原材料及び貯蔵品	114,266	117,608
その他	362,333	452,324
流動資産合計	1,161,945	1,242,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,506,441	3,532,308
土地	1,596,223	1,596,223
その他(純額)	716,632	674,796
有形固定資産合計	5,819,296	5,803,327
無形固定資産		
のれん	352,679	336,651
その他	20,693	38,003
無形固定資産合計	373,373	374,655
投資その他の資産		
投資有価証券	8,220	8,220
差入保証金	1,313,536	1,286,785
その他	353,890	367,691
貸倒引当金	△21,145	△21,019
投資その他の資産合計	1,654,501	1,641,677
固定資産合計	7,847,171	7,819,660
繰延資産		
社債発行費	26,057	22,853
繰延資産合計	26,057	22,853
資産合計	9,035,174	9,084,764

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	386,621	492,849
短期借入金	338,900	25,100
1年内返済予定の長期借入金	1,309,837	1,259,348
1年内償還予定の社債	66,000	43,000
未払金	701,952	819,983
未払法人税等	39,379	60,792
賞与引当金	3,192	-
株主優待引当金	5,690	5,990
その他	483,888	503,286
流動負債合計	3,335,461	3,210,349
固定負債		
社債	370,000	360,000
長期借入金	2,916,909	2,970,210
資産除去債務	89,091	101,400
その他	487,478	459,404
固定負債合計	3,863,479	3,891,016
負債合計	7,198,940	7,101,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,146,969	1,221,246
資本剰余金	1,076,969	1,151,246
利益剰余金	△341,325	△374,661
自己株式	△76,085	△76,085
株主資本合計	1,806,527	1,921,746
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△36,844	△33,953
その他の包括利益累計額合計	△36,844	△33,953
新株予約権	1,638	14,360
非支配株主持分	64,912	81,244
純資産合計	1,836,233	1,983,398
負債純資産合計	9,035,174	9,084,764

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	7,248,140	7,480,976
売上原価	2,259,604	2,379,839
売上総利益	4,988,535	5,101,136
販売費及び一般管理費	4,985,429	5,132,306
営業利益又は営業損失(△)	3,106	△31,170
営業外収益		
受取利息	255	588
協賛金収入	60,019	68,732
設備賃貸料	9,719	9,767
その他	4,184	19,626
営業外収益合計	74,178	98,714
営業外費用		
支払利息	37,823	37,462
為替差損	8,081	4,456
賃貸費用	11,069	8,979
その他	3,495	4,851
営業外費用合計	60,470	55,749
経常利益	16,814	11,794
特別利益		
受取保険金	-	40,989
特別利益合計	-	40,989
特別損失		
減損損失	10,377	-
店舗閉鎖損失	73,377	14,870
特別損失合計	83,755	14,870
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△66,940	37,913
法人税等	△10,378	43,054
四半期純損失(△)	△56,562	△5,140
非支配株主に帰属する四半期純利益	214	15,750
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△56,776	△20,891

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純損失(△)	△56,562	△5,140
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,720	2,890
その他の包括利益合計	6,720	2,890
四半期包括利益	△49,841	△2,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49,841	△18,582
非支配株主に係る四半期包括利益	-	16,332

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△66,940	37,913
減価償却費	357,350	339,337
のれん償却額	4,389	15,954
株主優待引当金の増減額	5,300	300
受取利息及び受取配当金	△255	△588
受取保険金	-	△40,989
支払利息	37,823	37,462
減損損失	10,377	-
店舗閉鎖損失	73,377	14,870
売上債権の増減額(△は増加)	△53,541	△85,654
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,238	△27,602
仕入債務の増減額(△は減少)	△88,329	106,221
その他	18,963	△38,639
小計	296,277	358,584
利息及び配当金の受取額	255	587
保険金の受取額	-	40,989
利息の支払額	△36,008	△33,138
法人税等の支払額	△51,213	△23,591
営業活動によるキャッシュ・フロー	209,310	343,431
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△769,597	△266,798
無形固定資産の取得による支出	△2,039	△21,756
差入保証金の差入による支出	△73,597	△6,585
差入保証金の回収による収入	34,449	32,054
貸付けによる支出	△3,307	△3,820
その他	△22,911	9,453
投資活動によるキャッシュ・フロー	△837,003	△257,452
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	25,200	△313,800
長期借入れによる収入	707,011	662,124
長期借入金の返済による支出	△590,952	△638,269
リース債務の返済による支出	△38,795	△34,666
社債の発行による収入	100,000	-
社債の償還による支出	△23,000	△33,000
社債の発行による支出	△2,599	-
株式の発行による収入	154,200	146,877
新株予約権の発行による収入	-	14,400
配当金の支払額	△11,994	△12,444
財務活動によるキャッシュ・フロー	319,070	△208,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	△316	△219
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△308,939	△123,018
現金及び現金同等物の期首残高	749,519	357,484
現金及び現金同等物の四半期末残高	440,580	234,465

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、資本金が74,277千円、資本準備金が74,277千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,221,246千円、資本剰余金が1,151,246千円となっております。

(会計上の見積りの変更)

第1四半期連結会計期間において、不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退店等の新たな情報の入手に伴い、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。見積りの変更による増加額16,893千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	6,582,353	114,815	351,662	7,048,831	199,308	7,248,140	—	7,248,140
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	39,158	899,761	316	939,235	246,125	1,185,361	△1,185,361	—
計	6,621,511	1,014,576	351,978	7,988,067	445,434	8,433,501	△1,185,361	7,248,140
セグメント利益又は 損失(△)	303,899	83,621	△4,391	383,129	17,396	400,526	△397,419	3,106

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△397,419千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食」セグメントにおいて、株式会社ジェイプロジェクトの不採算店舗に係る構築物及び工具器具備品等について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、10,377千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	6,849,400	128,430	323,687	7,301,518	179,458	7,480,976	—	7,480,976
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	41,065	870,458	—	911,523	236,470	1,147,994	△1,147,994	—
計	6,890,465	998,888	323,687	8,213,042	415,928	8,628,970	△1,147,994	7,480,976
セグメント利益又は 損失(△)	341,751	82,152	△13,692	410,211	12,936	423,147	△454,317	△31,170

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△454,317千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。